

1. 経営状況報告

2. 2026年3月期 第2四半期決算報告

3. 2026年3月期 通期見通し

2026年3月期 上期：ポイント

上期実績 (前年比)

- **売上収益** : **3,129億円** (前年比 ▲198億円)
- **営業利益** : **▲48億円** (前年比 ▲106億円)
- **当期利益*** : **53億円** (前年比 +24億円)
 - 売上収益は、コンポーネント事業で販売増加があった一方、映像事業やヘルスケア事業での為替影響及び半導体装置事業やデジタルマニファクチャリング事業での販売減少により減収
 - 営業利益は、半導体装置事業・インダストリアルソリューションズ事業の構造改革効果に加え、精機事業において半導体ウェハ接合技術の研究開発事業譲渡益の計上があった一方、関税影響や映像事業での為替影響と製品ミックス変化、デジタルマニファクチャリング事業の減収影響により減益
 - 当期利益は、連結子会社の解散及び清算決議に伴う繰延税金資産の計上により増益

前回予想比 (8/7)

- **売上収益** : **▲1億円**
- **営業利益** : **+32億円**
- **当期利益*** : **+3億円**
 - 売上収益は、FPD露光装置の据付繰延やデジタルマニファクチャリング事業の販売繰延による下振れを、映像事業やヘルスケア事業での上振れにより相殺し、概ね予想通り
 - 営業利益は、デジタルマニファクチャリング事業の販売繰延による下振れの一方、精機事業の事業譲渡益前倒し計上やヘルスケア事業・コンポーネント事業における経費の抑制及び繰延により上振れ

2026年3月期 上期：財務ハイライト

単位：億円	25年3月期	前回予想	26年3月期	前年比		前回予想比	
	上期実績	(8/7)	上期実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	3,327	3,130	3,129	▲198	▲6.0%	▲1	▲0.0%
営業利益	58	▲80	▲48	▲106	-	+32	-
営業利益率	1.7%	▲2.6%	▲1.5%	▲3.2P		+1.1P	
税引前利益	44	▲60	▲52	▲96	-	+8	-
税引前利益率	1.3%	▲1.9%	▲1.7%	▲3.0P		+0.2P	
当期利益*	29	50	53	+24	+80.7%	+3	+7.1%
当期利益率	0.9%	1.6%	1.7%	+0.8P		+0.1P	
FCF	▲2	-	▲230	▲228	-	-	-
為替：USD 円	153円	145円	146円	売上収益への影響			
				▲68		+43	
	166円	159円	168円	営業利益への影響			
				▲31		▲3	

上期における営業利益への関税影響は▲29億円

2026年3月期 Q2：財務ハイライト

単位：億円	25年3月期	26年3月期	前年比	
	Q2実績	Q2実績	増減額	増減率
売上収益	1,689	1,548	▲141	▲8.3%
営業利益	29	▲37	▲66	-
営業利益率	1.7%	▲2.3%	▲4.0P	-
税引前利益	▲2	▲59	▲57	-
税引前利益率	▲0.1%	▲3.9%	▲3.8P	-
当期利益*	2	▲41	▲43	-
当期利益率	0.1%	▲2.7%	▲2.8P	-
FCF	78	▲137	▲215	-
為替：USD 円	150円	147円	売上収益への影響	
			+3	
	164円	172円	営業利益への影響	
			▲7	

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

2026年3月期 上期：セグメント別業績

単位：億円

		25年3月期 上期実績	前回予想 (8/7)	26年3月期 上期実績	前年比		前回予想比	
					増減額	増減率	増減額	増減率
映像事業	売上収益	1,517	1,400	1,450	▲67	▲4.4%	+50	+3.6%
	営業利益	288	140	151	▲137	▲47.5%	+11	+8.2%
	営業利益率	19.0%	10.0%	10.4%	▲8.6P		+0.4P	
精機事業	売上収益	815	720	698	▲117	▲14.3%	▲22	▲2.9%
	営業利益	9	5	30	+21	+222.6%	+25	+508.9%
	営業利益率	1.2%	0.7%	4.4%	+3.2P		+3.7P	
ヘルスケア事業	売上収益	551	500	512	▲39	▲7.1%	+12	+2.4%
	営業利益	13	▲10	3	▲10	▲73.8%	+13	-
	営業利益率	2.4%	▲2.0%	0.7%	▲1.7P		+2.7P	
コンポーネント事業	売上収益	304	350	351	+47	+15.4%	+1	+0.4%
	営業利益	14	35	52	+38	+255.4%	+17	+50.9%
	営業利益率	4.9%	10.0%	15.0%	+10.1P		+5.0P	
デジタルマニュファクチャリング 事業	売上収益	117	140	98	▲19	▲16.2%	▲42	▲29.8%
	営業利益	▲64	▲55	▲ 89	▲25	-	▲34	-
	営業利益率	▲54.9%	▲39.3%	▲ 91.2%	▲36.3P		▲51.9P	
その他（含、全社費用等）	売上収益	20	20	18	▲2	▲13.5%	▲2	▲9.6%
	営業利益	▲203	▲195	▲ 196	+7	-	▲1	-
連結	売上収益	3,327	3,130	3,129	▲198	▲6.0%	▲1	▲0.0%
	営業利益	58	▲80	▲ 48	▲106	-	+32	-
	営業利益率	1.7%	▲2.6%	▲ 1.5%	▲3.2P		+1.1P	

2026年3月期 上期：映像事業

単位：億円	25年3月期 上期実績	前回予想 (8/7)	26年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	1,517	1,400	1,450	▲67	+50
営業利益	288	140	151	▲137	+11
営業利益率	19.0%	10.0%	10.4%	▲8.6P	+0.4P
レンズ交換式 デジタルカメラ	41万台	-	48万台	+7万台	-
交換レンズ	65万本	-	67万本	+2万本	-

- **前年比**：ボリュームゾーンの新製品「Z5II」や好調な「Z50II」などを中心に販売台数は増加したものの、製品ミックスの変化による平均販売単価の下落に加え、為替や関税影響もあり減収減益
- **前回予想比**：販売増に加え、経費抑制もあり売上収益・営業利益ともに上振れ

2026年3月期 上期：精機事業

単位：億円	25年3月期 上期実績	前回予想 (8/7)	26年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	815	720	698	▲117	▲22
営業利益	9	5	30	+21	+25
営業利益率	1.2%	0.7%	4.4%	+3.2P	+3.7P
FPD露光装置	16台	-	15台	▲1台	-
半導体露光装置 新品／中古	4/6台	-	8/1台	+4/▲5台	-

- **前年比**：売上収益は、FPD装置事業で製品ミックス改善も、半導体装置事業のArF露光装置の販売減少により減収。一方、営業利益は、追加のサービス拠点最適化費用を計上したものの、ウェハ接合技術の研究開発事業の譲渡益や前年に実施した半導体装置事業の構造改革効果により増益
- **前回予想比**：売上収益は、FPD露光装置の据付繰延等により下振れ。一方、営業利益は、上記事業譲渡益の下期計画からの前倒し計上により上振れ

2026年3月期 上期：ヘルスケア事業

単位：億円	25年3月期 上期実績	前回予想 (8/7)	26年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	551	500	512	▲39	+12
営業利益	13	▲10	3	▲10	+13
営業利益率	2.4%	▲2.0%	0.7%	▲1.7P	+2.7P

- **前年比**：売上収益は、為替影響に加え、ライフサイエンスにおいて米国でのアカデミア向け助成金の打ち切りや保留による販売停滞の影響を受け、減収。営業利益は、経費抑制も販売減や関税影響により減益
- **前回予想比**：売上収益は、為替効果に加え、アイケアの欧米を中心とした販売増により上振れ。営業利益は、販売増に伴う粗利増に加え、事業部全体の経費抑制により上振れ

2026年3月期 上期：コンポーネント事業

単位：億円	25年3月期 上期実績	前回予想 (8/7)	26年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	304	350	351	+47	+1
営業利益	14	35	52	+38	+17
営業利益率	4.9%	10.0%	15.0%	+10.1P	+5.0P

- **前年比**：売上収益は、電子部品・半導体向け画像測定システムやFPDフォトマスク基板の販売増加により増収。営業利益は、増収に加え、前年に実施したインダストリアルソリューションズ事業（旧産業機器事業）での構造改革効果により増益
- **前回予想比**：売上収益は、概ね予想通り。営業利益は、下期への経費繰延により上振れ

2026年3月期 上期：デジタルマニュファクチャリング事業

単位：億円	25年3月期 上期実績	前回予想 (8/7)	26年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	117	140	98	▲19	▲42
営業利益	▲64	▲55	▲89	▲25	▲34
営業利益率	▲54.9%	▲39.3%	▲91.2%	▲36.3P	▲51.9P

- **前年比**：売上収益は、SLM社の大型金属3Dプリンターの販売台数減により減収。営業利益は、販売減及び製品ミックスの変化による粗利減に加え、経費増加により減益
- **前回予想比**：大型金属3Dプリンターの販売繰延により売上収益・営業利益ともに下振れ

1. 経営状況報告

2. 2026年3月期 第2四半期決算報告

3. 2026年3月期 通期見通し

2026年3月期 通期見通し：ポイント

売上収益

- **全社見通し 6,800億円** （前回予想から200億円下方修正）
 - 上期実績を踏まえ映像事業やヘルスケア事業で上方修正する一方、精機事業やデジタルマニュファクチャリング事業の販売計画を引き下げたため、全社では下方修正

営業利益

- **全社見通し 140億円** （前回予想から70億円下方修正）
 - 精機事業：装置販売の来期への繰延等により、70億円下方修正
 - ヘルスケア事業：上期実績を踏まえ、10億円上方修正
 - デジタルマニュファクチャリング事業：上期実績を踏まえ、販売計画を見直した結果、20億円下方修正
 - 通期の関税影響は75億円を見込む（前回予想から変更なし）

当期利益*

- **全社見通し 200億円** （前回予想から70億円下方修正）

株主還元

- **中間配当金25円、年間配当金予想50円** （前回予想据え置き）

為替前提

- **USドル 146円、ユーロ 169円** （下期は、USドル 145円、ユーロ 170円）

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2026年3月期 通期見通し：財務ハイライト

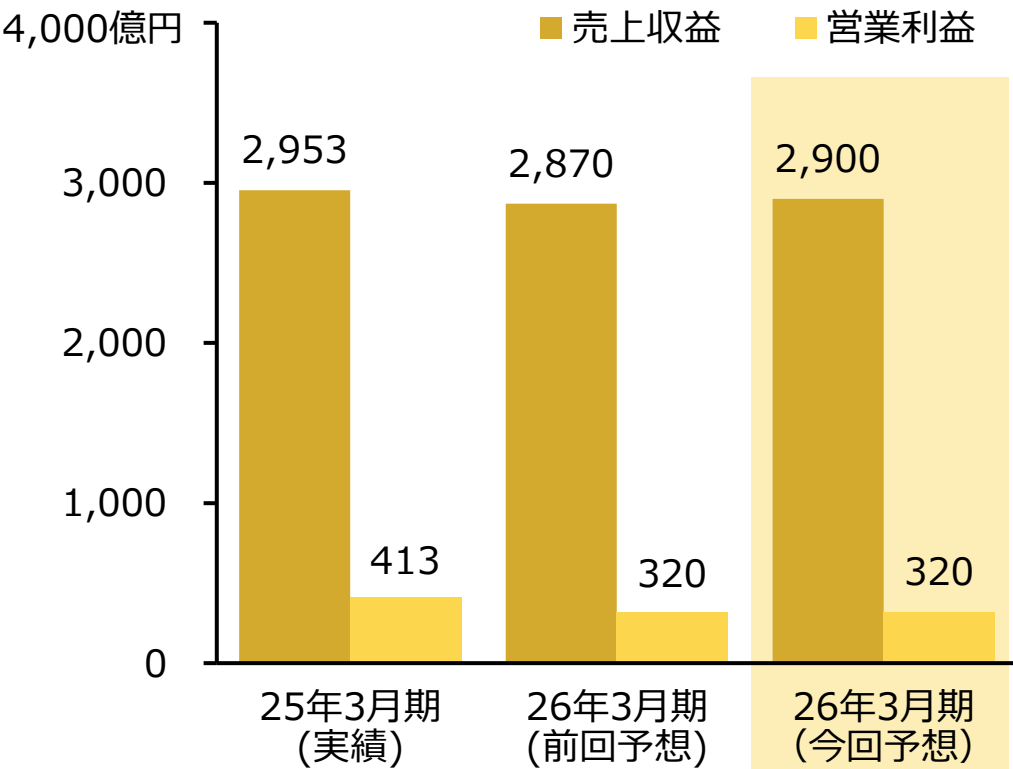
単位：億円	25年3月期 実績	前回予想 (8/7)	今回予想 (11/6)	前年比	前回予想比
売上収益	7,152	7,000	6,800	▲352	▲200
営業利益	24	210	140	+116	▲70
営業利益率	0.3%	3.0%	2.1%	+1.8P	▲0.9P
税引前利益	45	250	160	+115	▲90
税引前利益率	0.6%	3.6%	2.4%	+1.8P	▲1.2P
当期利益*	61	270	200	+139	▲70
当期利益率	0.9%	3.9%	2.9%	+2.0P	▲1.0P
ROE	0.9%	4.2%	3.1%	+2.2P	▲1.1P
EPS	17.86円	82.08円	60.78円	+42.92円	▲21.30円
年間配当	50円	50円	50円	-	-
為替：USD	153円	145円	146円	売上収益への予想影響	
				▲123	+112
ユーロ	164円	157円	169円	営業利益への予想影響	
				▲40	+20

* 親会社の所有者に帰属する当期利益
注： 予想EPSの前提となる発行済株式数： 前回予想約328.9百万株、今回予想約329.0百万株

2026年3月期 通期見通し：セグメント別見通し

単位：億円		25年3月期実績	前回予想（8/7）	今回予想（11/6）	前年比	前回予想比
映像事業	売上収益	2,953	2,870	2,900	▲53	+30
	営業利益	413	320	320	▲93	-
	営業利益率	14.0%	11.1%	11.0%	▲3.0P	▲0.1P
精機事業	売上収益	2,019	1,850	1,630	▲389	▲220
	営業利益	15	120	50	+35	▲70
	営業利益率	0.8%	6.5%	3.1%	+2.3P	▲3.4P
ヘルスケア事業	売上収益	1,164	1,120	1,140	▲24	+20
	営業利益	67	40	50	▲17	+10
	営業利益率	5.8%	3.6%	4.4%	▲1.4P	+0.8P
コンポーネント事業	売上収益	741	790	790	+49	-
	営業利益	71	100	100	+29	-
	営業利益率	9.7%	12.7%	12.7%	+3.0P	-
デジタル マニファクチャリング事業	売上収益	233	330	300	+67	▲30
	営業利益	▲152	▲90	▲110	+42	▲20
	営業利益率	▲65.2%	▲27.3%	▲36.7%	+28.5P	▲9.4P
その他 （含、全社費用等）	売上収益	40	40	40	±0	-
	営業利益	▲391	▲280	▲270	+121	+10
連結	売上収益	7,152	7,000	6,800	▲352	▲200
	営業利益	24	210	140	+116	▲70
	営業利益率	0.3%	3.0%	2.1%	+1.8P	▲0.9P

2026年3月期 通期見通し：映像事業



レンズ交換式デジタルカメラ (万台)			
市場規模	672	670	670
ニコン	85	95	95
交換レンズ (万本)			
市場規模	1,042	1,000	1,000
ニコン	131	140	140

- 前回予想比：売上収益 +30億円、営業利益 ±0 億円
- 前年比：売上収益 ▲53億円、営業利益 ▲93億円

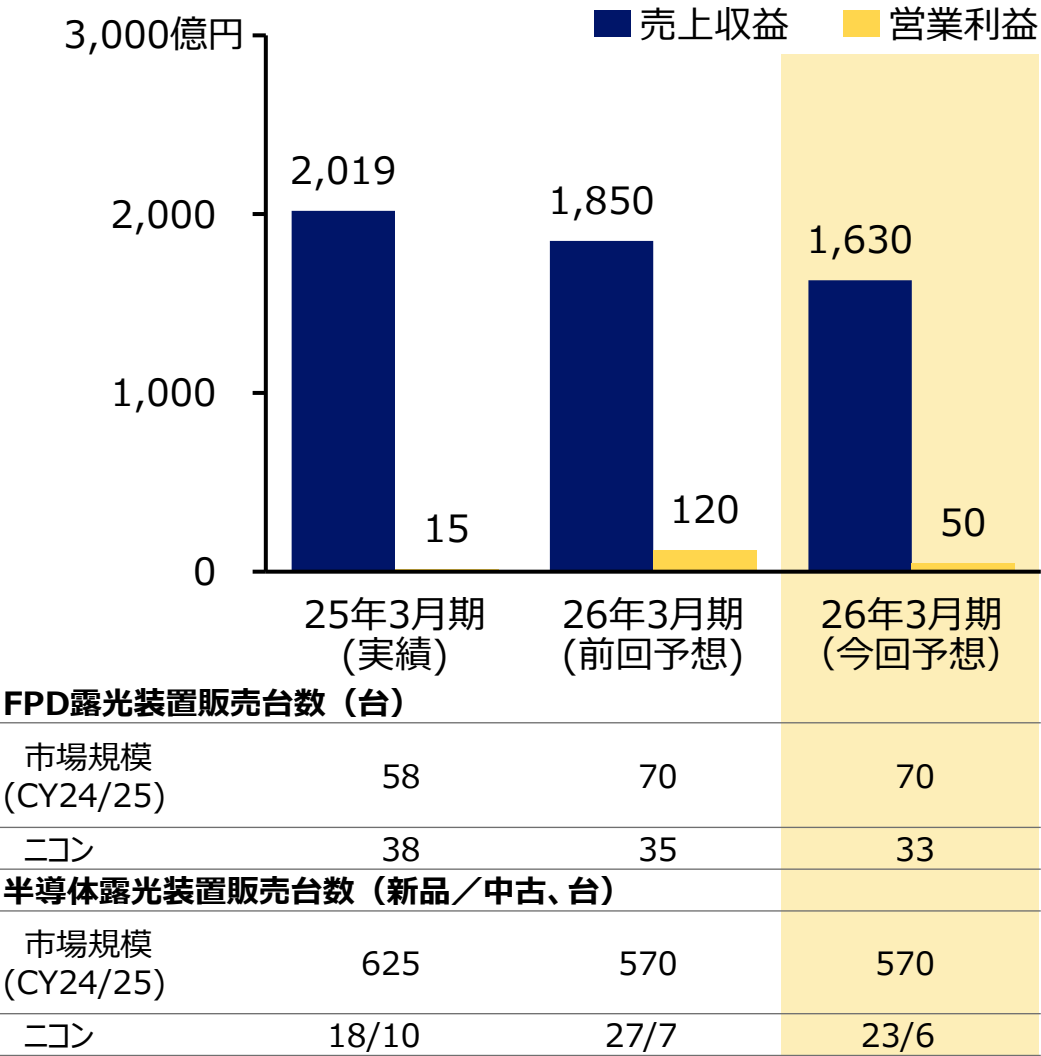
【前回予想比】

- レンズ交換式デジタルカメラ市場は中長期的には堅調に推移すると見込むも、足元では製品ミックスの下方シフトに加え、関税による値上げの影響や一部成長市場での一服感が見られる
- 販売台数は前回予想を据え置くが、上期実績を踏まえ売上収益は上方修正
- 営業利益は、下期の製品ミックスを見直すことで、通期では据え置き

【前年比】

- RED社の技術を融合した初のデジタルシネマカメラ「ZR」やボリュウムゾーンの「Z5II」・「Z50II」などを中心に販売数量の増加を見込むものの、為替や関税影響等により減収減益

2026年3月期 通期見通し：精機事業



- 前回予想比：売上収益 ▲220億円、営業利益 ▲70億円
- 前年比：売上収益 ▲389億円、営業利益 +35億円

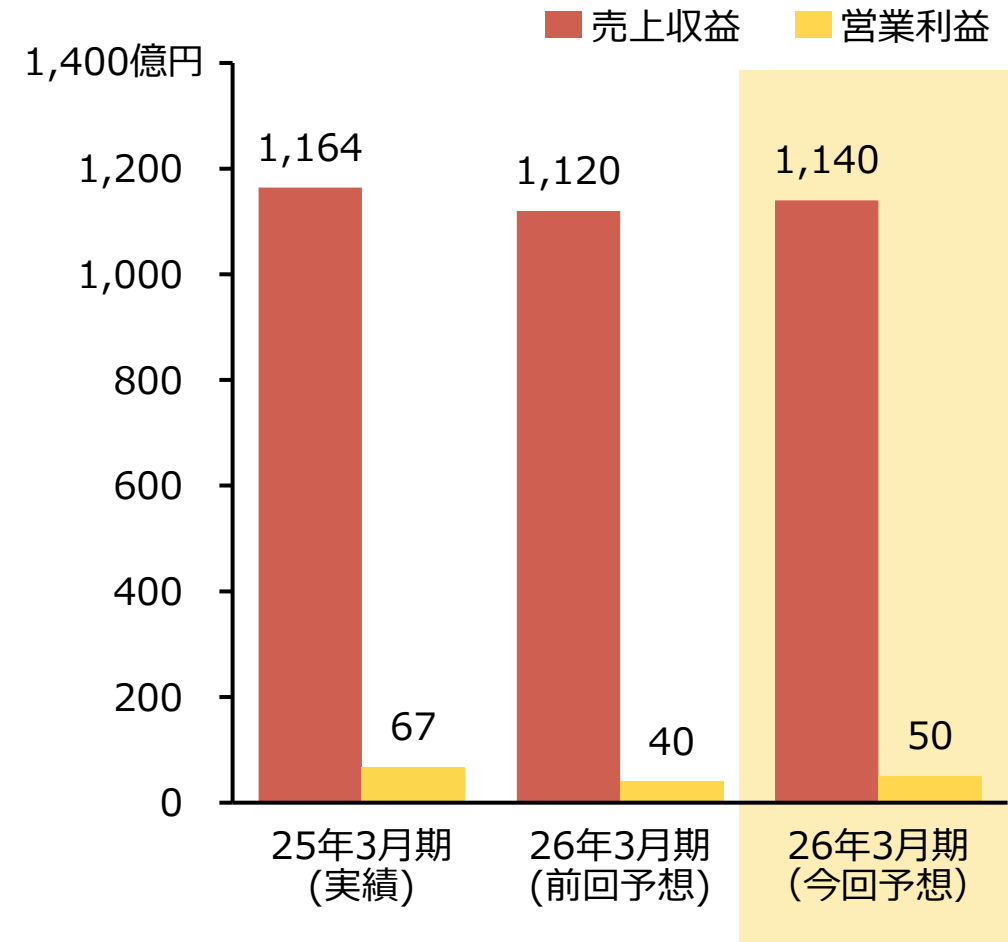
【前回予想比】

- FPD露光装置及び半導体露光装置の来期への販売繰延等により
売上収益・営業利益とも下方修正

【前年比】

- 売上収益は、FPD露光装置及びArF露光装置の販売台数減少や
サービス収入の減少により減収
- 営業利益は、FPD装置事業の製品ミックス変化、半導体装置事業の
前年一時費用の剥落や構造改革効果に加え、ウェハ接合技術の研究
開発事業譲渡益により増益
- 半導体装置事業では、今後の顧客の動向を見極めるとともに、生産・
サポート体制の最適化を引き続き進め、損益分岐点を引き下げる

2026年3月期 通期見通し：ヘルスケア事業



● 前回予想比：売上収益 +20億円、営業利益 +10億円

● 前年比：売上収益 ▲24億円、営業利益 ▲17億円

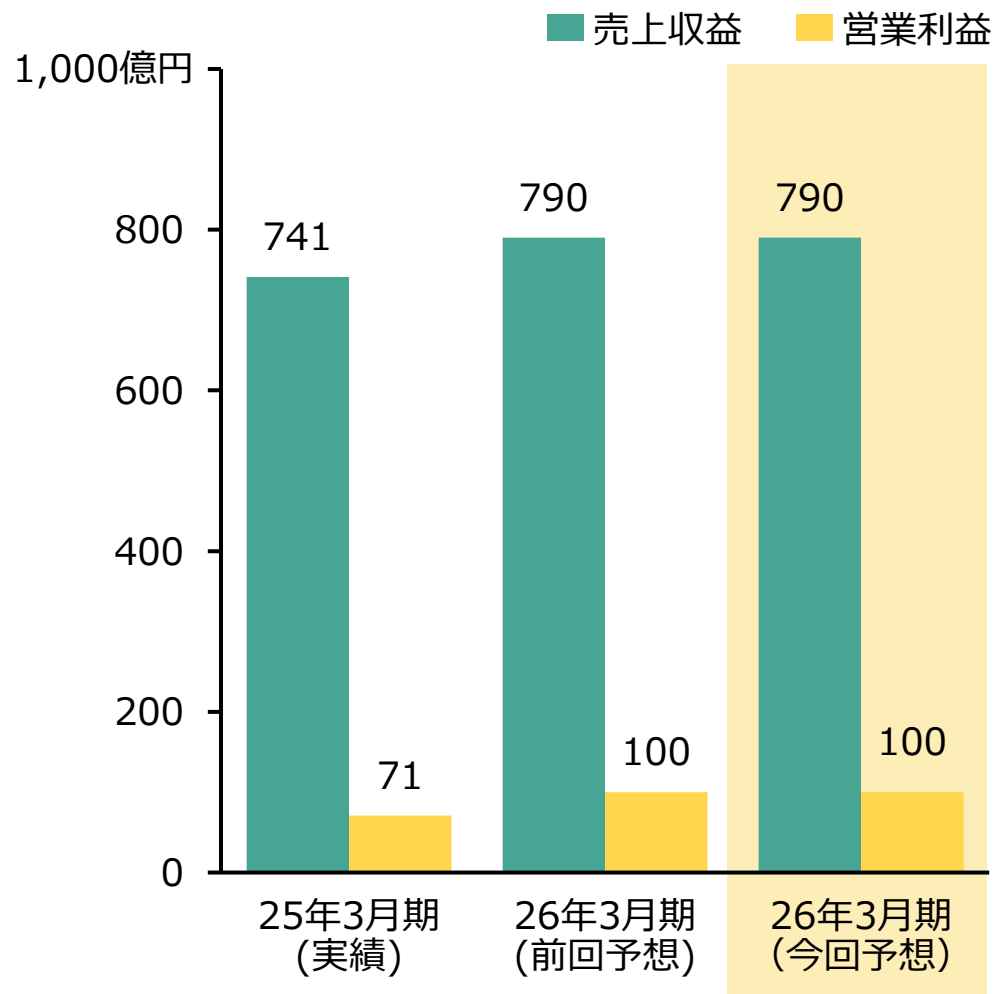
【前回予想比】

- 売上収益は、為替効果を反映し20億円上方修正
- 営業利益は、経費抑制などの上期実績を踏まえ10億円上方修正

【前年比】

- ライフサイエンスは、収益性改善を目指し、高付加価値製品の拡販に加え、販管費の適正化を計画
- アイケアは、中国での販売低迷が懸念されるものの、欧米を中心に新製品の拡販を進め、通期では前年並みの売上収益を目指す
- 細胞受託生産は、安定した売上収益及び営業利益の確保を見込む。既存プロジェクトは順調に進んでおり、生産能力拡大に向けた投資を行う
- 事業全体の売上は、為替影響に加えライフサイエンスの米国における販売減もあり減収。営業利益は、経費抑制を進めるも関税影響により減益

2026年3月期 通期見通し：コンポーネント事業



- 前回予想据え置き

- 前年比：売上収益 +49億円、営業利益 +29億円

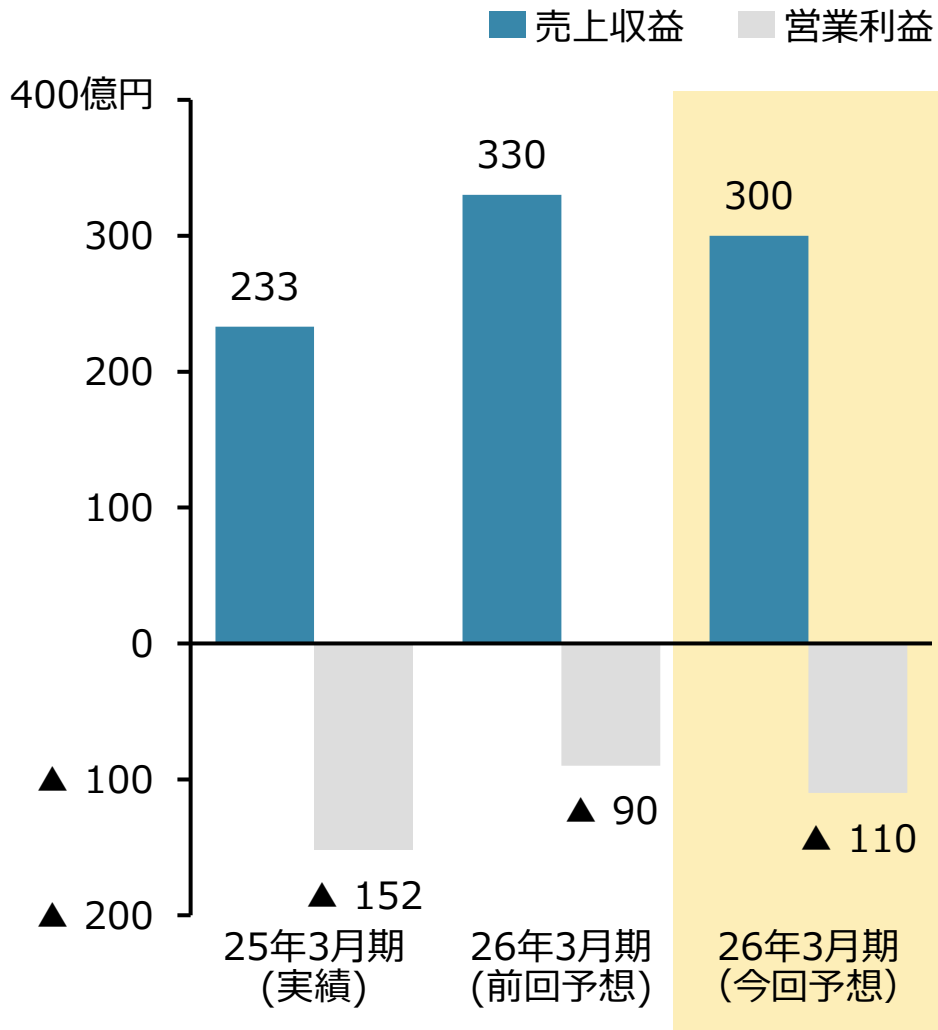
【前回予想比】

- 上期営業利益の上振れは経費繰延によるもののため、通期では据え置き

【前年比】

- 光学部品・光学コンポーネントは顧客拡大を継続的に進め、下期の市況回復による販売増加を見込む
- 測定機器分野では、画像測定システムが好調に推移
- FPDフォトマスク基板は、高精細パネル向けの需要増加を見込む
- 増収効果に加え、前年発生したインダストリアルソリューションズ事業（旧産業機器事業）での構造改革一時費用（18億円）の剥落と構造改革による収益性向上により、増益を見込む

2026年3月期 通期見通し：デジタルマニュファクチャリング事業



- 前回予想比：売上収益 ▲30億円、営業利益 ▲20億円
- 前年比：売上収益 +67億円、営業利益 +42億円

【前回予想比】

- 大型PBF装置*とDED装置*の販売繰延等により、売上収益を30億円、営業利益を20億円それぞれ下方修正

【前年比】

- 金属3Dプリンター市場全体は横ばいの見通しも、防衛・宇宙領域は引き続き堅調に推移し、特に大型金属3Dプリンター市場の需要拡大を見込む
- 売上拡大に加え、生産体制の最適化や経費抑制、研究開発の優先順位の明確化等の経営最適化の取り組みを一層強化し、収益性改善を図る
- SLM社は26年3月期に黒字化、事業全体では28年3月期の黒字化を目指す

* PBF装置：SLM社で製造するPowder Bed Fusion方式の金属3Dプリンター

* DED装置：ニコンで製造するDirect Energy Deposition方式の金属3Dプリンター

注：26年3月期のSLM社買収に伴う無形資産償却費見込額：40億円